

ヒバクシャ国際署名に、 県平和委員会も草の根から！

世界の流れは核兵器禁止！ 署名賛同が世界を動かす！

「被爆者訴える核兵器廃絶国際署名（ヒバクシャ国際署名）は、2020年までを期限として、毎年10月に国連に提出します。署名目標は5億人と言う膨大なものです。

取り組まれる署名はもちろん「数が大切」です。しかし今回の署名は「どれだけ主体的に運動に関わる」のかを特に重要視しています。紙媒体でもウェブ上でもどちらでも結構です。「日本の市民が核兵器廃絶を圧倒的に求めていることを発信することで、日本政府への圧力になる（キャンペーンリーダー・林田さん）」と語っています。

一方「核兵器禁止条約の交渉開始」が国連軍縮作業部会で採択され、国連総会に提出されようとしていますが、日本政府は『時期尚早』として反対を表明しています。唯一の被爆国として恥ずかしい限りです。市民の非核の声で変えさせる必要があります。

茨城県平和委員会でも各平和の会・平和委員会が独自に目標を決めて取り組むことを提案します。核兵器廃絶の共同を大きく広げ、核兵器保有国に迫る重要な署名です。



JCO臨界事故を忘れない
原子力事故を繰り返させない

2016年9.30茨城集会

日時：9月24日(土) 13:30～16:00

会場：東海村産業・フラザ

「iVil(アイヴィル)」多目的ホール

(東海駅東口から徒歩2分 Tel 029-306-1155)

資料代：500円

【記念講演】「フクシマ 無念」

原発被害者の漂流・無念を告発する

～スライドトーク～：菊池 和子 氏（写真家）

菊池和子さんは、各地で写真展や講演を開催。写真集「フクシマ漂流」に続く「フクシマ無念」を出版。

【報告】東海第二原発 再稼働どうなる？

— 40年超の高浜原発との比較で考える —
中村 敏夫 氏（茨城県原発を考える会会長）



【東海第2発電所】

主催：2016年9.30

茨城集会実行委員会

後援：東海村

実行委員長：田村武夫

(茨城大学名誉教授)

若者よ「ピースエッグ」へ！ 平和と未来を語ろう！

とき：2016年9月17日（土）・18日（日）・19日（月）

ところ：大阪信太山



- 日本平和委員会と青年実行委員会が開催する、「青年による青年のため」の、「2泊3日のワークショップ」です。
- とことん議論のグループトークを中心に、学習や交流など多彩な企画です。
- 参加者一人一人が学び・考え・語り・表現することを大切に、「たまご」から「ひよこ」へと成長することを目的にしています。
- ◆参加希望の方は、担当・木村まで連絡下さい（090-9821-0434）

第2回・常任理事会」の開催

★★★★ ★★★★★

とき 2016年 9月4日（日）午後1時から

ところ 青少年会館 2階・中研修室①

- 内容
- ・大会以後のとりくみ交流と組織の強化
 - ・情勢 ・秋の宣伝行動のとりくみ
 - ・自治体との平和行政について話し合い活動

「第2回・理事会」の開催

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

とき 2016年 9月11日（日）午後1時から

ところ 青少年会館 3階・中研修室②

- 内容
- ①活動の交流（平和行進 戦争と平和パネル展等）
 - ②情勢 秋から年末のとりくみ 組織の強化
 - ③自治体との平和行政について話し合い活動
・平和大使の派遣 ・自衛隊適齢者名簿等

平和新聞

2016年8月15・25日（合併号）

2117号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 755 合併号

2016.8/15・25
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

毎年・夏の2週間

会員手作りの「戦争と平和展」を開催!

友部平和の会

友部平和の会では、「2016 戦争と平和展」を8月2日から14日までの2週間、友部図書館ギャラリーにて開催しました。昨年までは、内原・友部平和の会としての開催でした。



今年は、『憲法公布70年! 平和のための戦争展』ということで、「繰り返すまい悲惨な体験～日本の戦争を考える～」「平和で人間らしい暮らしを守ろう～いま憲法が危ない～」「ひろがる平和を築く世界の輪」「福島原発事故から5年!」の4つのテーマをあげて取り組みました。それぞれの担当を決めて、4月くらいから資料や新聞記事、書籍、雑誌、パンフレットなどから相応しい内容を探し始めましたが、ひと月前になってもなかなか決まらずに、各担当者はみな悩んだりあせったりの状態でした。1週間前、手分けしてコピーをとったり、模造紙に貼り付けるなど、腰を据えて作製に専念しました。また、会員以外からも展示の協力をしてくれる人が出てくれて、新しい経験となりました。

毎年、「戦争と平和展」の開催を続けることにより、私たちは、「決して忘れてはならないこと・どうしたら平和を守り続けることができるか」を、訴えていこうと思います。

(友部平和の会・小林)

守谷平和の会 夏の「戦争と平和パネル展」

8月4日(木)～10日(水)

「1945年8月15日 その時アジアは」

～市の後援を受け開催!～

8月4日(木)から10日(水)まで守谷平和の会が主催、守谷市が後援で「戦争と平和パネル展」を開催しました。

県平和委員会作成「1945年8月15日 その時アジアは」パネルです。忌まわしい戦争が、アジア・太平洋各地に多大な犠牲と被害を強いました。この戦争でアジア諸国で2000万人以上、日本国民に310万人以上が殺されました。

その中でも、米国による日本空襲、原爆犠牲など、国際法上に違反する行為であることも明らかとなっています。

日本は、満州事変から日中戦争へと侵略を続け、ついに太平洋戦争への道を歩むことになります。

1941年(昭和16年)日本軍は、真珠湾を奇襲攻撃してから、マレー、シンガポール、インドネシア、フィリピンなど次々と侵略するのです。三国同盟が崩れ去ったのが1943年イタリア、ドイツが降伏したのです。それから日本は、米軍によるB29の奇襲攻撃が東京、大阪への空襲で20数万の犠牲者を生みました。そして最後には、広島・長崎へ原子爆弾が投下されました、空襲など合わせて50万人の犠牲者を出しました。このような、悲惨な状況やアジア各地での状況をパネル化し展示しました。守谷市では広報「もりや」7月25日号に掲載し、市民に配布しました。

(「守谷平和の会ニュース」より)

常陸太田平和の会

8月15日(月)

市内寺院で、平和の鐘を撞こう!



太田平和の会(常陸太田市)は、市内にある「久昌寺」「寿松院」「宝金剛院」の3つのお寺で「平和の鐘」を撞きました。これは平和委員会が企画し寺院に要請・協力を得てかなり前から継続した取り組みです。3つの寺院を平和委員会の会員が分担して受け持つ事前の準備を行います。15日の12時に一斉に開始します。1人1～3回ほど撞きます。昨年は寿昌院での鐘撞きが新聞に取り上げられ、30人以上の参加者で賑わいました。

また8月17日(水)～21(日)には、「原発と人間」のタイトルで、「戦争と平和パネル展」を開催しました。

「原水爆禁止2016年世界大会・広島」

茨城から30人が参加!

全世界から5500人が集い、

核廃絶の思いを確認!

県立総合体育館で開催されたヒロシマデー集会で、「広島からのよびかけ」(決議)を採択しました。決議は①国連作業部会が国連総会に対して、核兵器を禁止し、廃絶する条約の交渉開始を含む具体的な勧告を行うよう求める。②圧倒的な世論と運動の力で『核抑止力』にしがみついた国々を包囲し、孤立させましょう」と呼びかけています。

茨城県からの参加者内訳は、あおいうみ学童クラブ(9人) 新婦人(5人=つくば:3人 水戸:1人 ひたちなか:1人) 民青(2人) 保健生協(2人) 県平和委(1人) 原水協(5人=牛久:2人 東海:1人 水戸:2人 竜ヶ崎:1人) 民商(1人) 県会議員(1人) 全農林(1人)、大洗市(1人)、等でした。また、原水協とは別に、茨厚労(茨城県厚生病院労働組合)が独自に12名、茨城生協連が4人派遣しました。また広島大会に参加した学研協の研究者は、長崎大会にも参加しました。

茨城県弁護士会憲法シンポジウム

司法は憲法の守り手になれるのか

～ 百里基地訴訟をとおして考える ～

日時: 9月3日(土) 13:30～16:00

会場: 茨城県開発公社ビル会議室

(水戸市笠原町978-2)

入場無料・どなたでも参加いただけます。



主催: 茨城県弁護士会

〒310-0062 水戸市大町2-2-75 (Tel:029-231-3501)

= 基調講演 = 百里基地訴訟の意義

～ 何が裁かれ、何を残したか ～

内藤 功 弁護士 (百里弁護団長)

= パネルディスカッション =

[パネリスト] 内藤 功 氏・榎 透 氏

[コーディネーター] 茨城県弁護士会憲法委員会委員